

## 中津川市からレジストロ日本移民100周年の慶祝訪問

杉本姉妹都市協会長、青山市長をはじめ24名の中津川市民が姉妹都市レジストロ市の日本移民100周年記念行事に参加するため、2013年10月29日～11月6日の間、ブラジルを訪問しました。

慶祝訪問団は10月29日に中津川市を出発し、中部国際空港からフランクフルト経由にて10月30日ブラジルサンパウロへ到着しました。

10月31日にレジストロ市に到着、市役所を訪問した後にレジストロ市、イグアッペ市、セッテバラス市の3市合同で開催された日本移民入植100周年記念式典に参加しました。

式典には3市の市長をはじめ日本移民関係者、ブラジル連邦議員、サンパウロ州知事・州議会議員など約400名が参加し盛大に開催され、杉本協会長、青山市長、小倉理事の3名がレジストロ市名誉市民章を受章いたしました。



11月1日はレジストロ日伯文化協会会館増築落成式に参加し、日本語学校の教室等を視察、その後セッテバラス市では初期移民の方との懇談、レジストロ移民資料館の見学を行いました。



11月2日はイグアッペ市に移動し、移民100周年記念行事の移民写真展を見学し、同市の市長らと懇談会を開催しました。

夜にはブラジルのお盆にあわせて開催される「第59回灯笼流し」に参加し、太鼓や民踊、日本食の屋台が出店するお祭りに参加、日本文化が根付く地域を実感しました。



11月3日はレジストロ市からサンパウロ市へ移動し、ブラジル移民開拓先没者慰霊碑の参拝、日本館を見学しました。



11月4日は岐阜県民ブラジル移住100周年、ブラジル岐阜県人会創立75周年を祝し、ブラジル岐阜県人会を訪問し、山田岐阜県人会長と懇談をしました。その後サンパウロ市内にあるサンタ・クルス病院を訪問し、病院内にある島崎藤村の歌碑を見学し、碑の由来の説明を受けました。その後サンパウロ空港を出発し、フランクフルト経由にて中部国際空港へ到着、中津川市に11月6日午前11時に帰着しました。

